

令和元年度 マンション管理士試験解答速報 【12/2版】

問1	4	問11	4	問21	1	問31	4	問41	4
問2	2	問12	1	問22	3	問32	4	問42	4
問3	3	問13	3	問23	2	問33	1	問43	2
問4	1	問14	2	問24	3	問34	3	問44	1
問5	2	問15	3	問25	3	問35	2	問45	1
問6	3	問16	4	問26	2	問36	2	問46	3
問7	2	問17	1	問27	3	問37	3	問47	2
問8	4	問18	3	問28	4	問38	1	問48	4
問9	4	問19	2	問29	2	問39	3	問49	3
問10	1	問20	4	問30	1	問40	1	問50	1

※後日情報を更新する場合もございます。あらかじめご了承ください。
※この解答速報の著作権はTAC(株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

※TACの予想合格ラインは36点前後です。あくまでもTAC独自の予想であり、合格を保証するものではありません。本予想ラインは変更の可能性もございます。あらかじめご了承ください。

TAC マンション管理士講座

令和元年度マンション管理士試験講評

(本試験所感)

全体的な難易度は昨年度と同程度と思われる。

問題形式では、組合せ問題が2問と、個数問題が8問出題され、組合せ問題は2問減ったものの、個数問題については昨年より3問増えた。

今年も、維持保全分野を除き、過去問論点をしっかりと見ておけば、正解しやすい問題が多かった。

(民法・区分)

民法・区分所有法とも、個数問題や事例問題があり難問もある。

ただし、過去に出題された選択肢や条文そのものを問う選択肢も見受けられたので、現場で考えれば正解できたはずである。

また、昨年に引き続き、被災区分所有法とマンション建替え等円滑化法が出題された。

(規約・会計)

標準管理規約は、新傾向ともいえる個人情報保護法や会計との混合問題が出題され、より応用的・実務的なものが見受けられる。

標準管理委託契約書は、3年連続の出題となった。

(維持・保全)

設備系法令等は昨年度よりも難しくなったと思われる。また、個数問題も2問出題され、解答に苦労した受験生も多かったかと思われる。ただし、過去問の重要論点からの出題も多くあったので、過去問の論点を正確に覚えることが重要である。

(適正化法)

昨年と比べると、同程度の難易度であったと思われる。

今年も、基本論点が多く含まれていた。

※この講評の著作権はTAC株式会社のものであり、無断転載・転用を禁じます。